

【九和】鍋地・桂

①20 お不動さん



展望所からは、玉川・今治市街が一望できる。



崖の上に祀られているお不動さん



ここから右へ行くとお不動さん。左上が蓬萊さん

お不動さんは、釈迦堂から北側にまわった崖の上に祀られている。途中展望所があり、玉川町から今治まですばらしい眺望が広がっている。またソメイヨシノの巨木があり花見の穴場でもある。ここから少し歩くと左上に石に彫られた不動明王の像が祀られている。比較的新しい石造物だが、健康長寿のご利益があると言われている。



蓬萊さんは宝篋印塔のすぐ横に祀られている。



頂上の宝篋印塔（県指定文化財）

①21 釈迦ヶ岳の宝篋印塔と蓬萊さん

山頂を釈迦ヶ岳ともいう。ここへは釈迦堂から道なき道を登らなければならない。本来は、参拝するための小路があったと思われる。それほど距離はないが、健脚が求められる。

頂上の宝篋印塔は花崗岩製で、塔身正面月輪内に種子キリクを刻む。総高144cmで、鎌倉時代後期のものと考えられる（宝蔵寺が管理）。

このそばに蓬萊さんがあり、古事来歴などはわからないが、鍋地地区で毎年「お当さん」をしてお祀りしている。



桂からは登山口に釈迦堂へ十四丁という碑があり、こちらまで飛び飛びではあるが多く残っている。

頂上までの距離は片道1200mほどでハイキングコースとしてちょうどよい。

かつては歩くための道でぎちんと丁石が距離の目安として設置されていた。今も、すべてではないがいくつかの丁石が残っている。鍋地からの道を注意深く歩いていると、十一丁から二丁まで（いくつかとんでいるが）見ることが出来る。

釈迦堂への参道は、鍋地・桂・御厩からの3通りあったが、御厩の参道は今はほとんど使われていない。

鍋地・桂からの参道は、やっと車が通行できる広さで急坂が続く。

①22 釈迦堂参道の丁石